

ミニディスクロージャー誌 2008

第84期 営業のご報告

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行



あなたのまちの

筑邦銀行

ごあいさつ

皆さまには、平素より筑邦銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび、当行の平成19年度の業績と現況などについてご説明した「ミニディスクロージャー誌2008/第84期営業のご報告」を作成いたしました。本誌を通じて、私どもに対するご理解をより深めていただければ幸いです。

さて、私ども金融機関を取り巻く経営環境は、各種の制度改正や金融界全体での再編、統合等により地域や業態を越えた競争が激化するなかで、お客さまの金融機関に対するニーズがますます高度化・多様化するなど大きな変革期にあります。

こうしたなか、当行は平成18年4月より平成21年3月までを計画期間とする「中期経営計画2006」に取り組んでおります。本計画では「持続的な収益力の強化」、「地域密着型金融の高度化」、「企業風土の変革」を基本方針に掲げ、収益力を一層強化し健全性の更なる向上をはかることにお客さまに対して、より質の高い金融サービスのご提供に努め、「地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行」を目指しております。

今年度は、3ヶ年の中期経営計画の最終年度となりますが、本計画の目標達成に向けて役職員一同全力で取り組んでまいりますので、今後ともなお一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成20年6月



頭取 山下 洋

目次

	頁		頁
ごあいさつ	1	トピックス	13
経営方針	2	お客さまへの大切なお知らせ	15
決算の概況	3	顧客保護等管理方針	16
当行の健全性	5	店舗/店舗外キャッシュコーナーのご案内	17
地域貢献	7	財務のご報告	19
地域経済の活性化	9	役員/株式の状況	21
社会貢献活動	10	株式のご案内	22
商品/サービスのご案内	11		

筑邦銀行の概要

設 立	…昭和27年12月23日
総 資 産	… 5,699億円
預金・譲渡性預金	… 5,258億円
貸 出 金	… 4,018億円
資 本 金	… 80億円
株 主 数	… 3,254名
従 業 員 数	… 596名
店 舗 数	… 42か店

(平成20年3月31日現在)

基本理念

「地域社会へのご奉仕」

当行は、昭和27年の創立以来、一貫して「地域社会へのご奉仕」という基本理念のもと、地元のお役に立つことが何にもまして重要な社会的使命と考え、地域の発展とともに今日の基盤を築いてまいりました。

今後も地元の銀行として、この経営方針を堅持してまいります。

中期経営計画2006

(2006年4月～2009年3月)

目指すべき当行の姿

地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行

取組むべき課題

- ◎企業価値向上のための
 - (1)収益構造の改善
(マーケット運用力の強化)
 - (2)経営資源の再分配
- ◎利用価値向上のための
 - (1)お客さま第一主義の徹底
 - (2)サービスの質の向上
(セキュリティの強化)
 - (3)プロフェッショナルの育成
- ◎経営インフラ強化のための
 - (1)システム基盤の拡充
 - (2)リスク管理強化
 - (3)コンプライアンスの徹底

基本方針

1. 持続的な収益力の強化
 - 営業基盤の拡充、営業力の強化
 - ローコスト・オペレーションの追求
2. 地域密着型金融の高度化
 - 地域のお客さまに対する相談業務の充実
 - 提案型営業の強化
3. 企業風土の変革
 - スピード・決断力・実行力の向上
 - チャレンジング・スピリットの醸成

求められる当行の姿

- ◎地域と社会から信頼される銀行
- ◎利便性の高い銀行
- ◎何でも相談できる銀行
- ◎安心して取引できる銀行
- ◎投資価値の高い銀行

戦略

営業部門戦略

- エリア戦略への取組
- 個人預り資産の増強(個人戦略)
- 問題解決型金融・サービスの提供(法人戦略)

市場部門戦略

- マーケット運用力の強化
- 市場部門リスク管理の強化

事務部門戦略

- 営業店事務効率化の推進
- 事務管理の高度化

IT・システム部門戦略

- IT関連商品・サービスへの取組強化
- セキュリティ対策の強化
- システム基盤強化

人事部門戦略

- プロフェッショナル集団の養成
- 従業員満足度の向上

経営管理の高度化

コンプライアンス

- コンプライアンス態勢の強化
- お客さま保護に関する管理強化

リスク管理

- 統合リスク管理への取組
- 信用リスク管理の高度化

内部統制の充実

- 内部統制システムの高度化

収益管理

- システムの高度化による収益管理の強化

決算の概況

損益



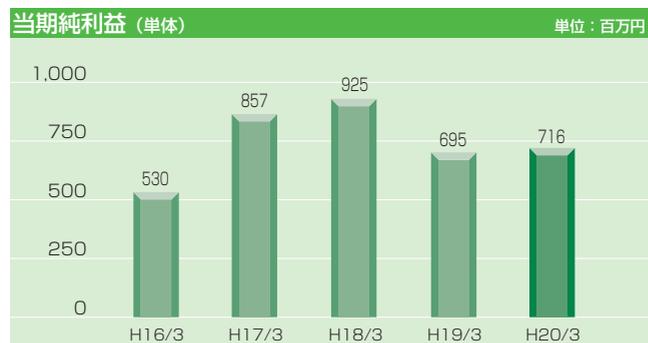
業務純益

業務純益は、営業経費及び一般貸倒引当金繰入額の増加等により、前期比3億67百万円減少して30億31百万円となりました。



経常利益

経常利益は、不良債権処理額が減少した一方で、業務純益が減益となり、株式等損益が減少したこと等により、前期比2億27百万円減少して13億24百万円となりました。



当期純利益

当期純利益は、経常減益となった一方で、特別損失の減少により、前期比21百万円増加して7億16百万円となりました。

●収益の用語解説

1. **業務純益とは** 銀行の利益を見る上での重要な指標で、預金・貸出金等銀行本来の業務から生まれた利益。一般企業の「営業利益」に相当します。
2. **経常利益とは** 業務純益に貸出金償却等の臨時損益を加減算したものです。
3. **当期純利益とは** 経常利益に特別損益と税金を加減算したもので、銀行が決算期間中に得た最終利益です。

資産・負債

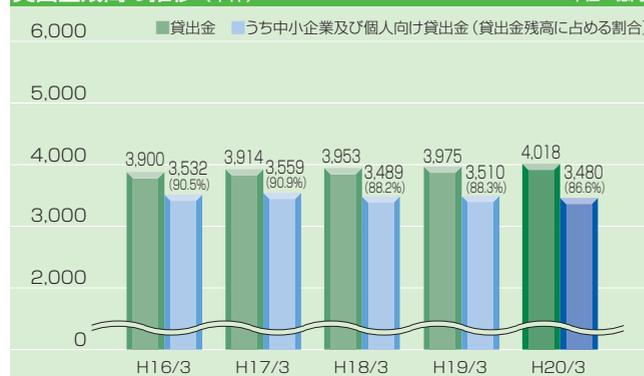
預金残高の推移 (単体) 単位：億円



預金

預金は、個人預金が順調に増加したことなどから、前期比55億円増加して5,220億円となりました。

貸出金残高の推移 (単体) 単位：億円



貸出金

貸出金は、地元企業を中心とした新規取引の拡大や個人のお客さまの住宅ローンをはじめとした資金ニーズにお応えするため積極的な営業活動に努めた結果、前期比43億円増加して4,018億円となりました。

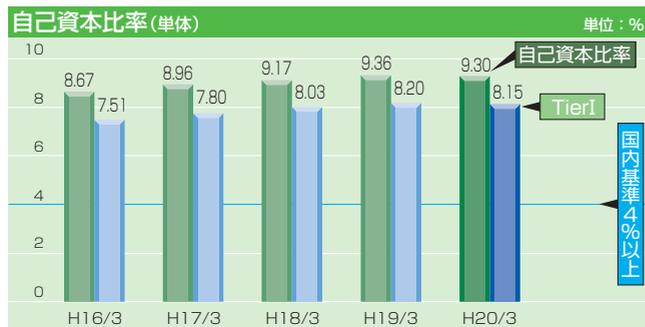
有価証券残高の推移 (単体) 単位：億円



有価証券

有価証券は、資金調達が好調であったことから国債などの運用残高の増加を図り、前期比10億円増加して1,266億円となりました。

当行の健全性



●自己資本比率の用語解説

1.自己資本比率とは 銀行の貸出等総資産に対する自己資本額の割合です。

この比率が高いほど不良債権等に対する備えが充実していることを示すため、銀行の健全性を表す重要指標の一つになっています。なお、当行のように海外に営業拠点を持たない銀行は、国内基準（4%）を維持することが義務づけられています。

2.Tier I 比率とは 資本金や利益剰余金などの基本的項目（Tier I）のみから算出される自己資本比率です。

格付け

当行は、格付けについて公正で権威ある日本格付研究所からA-格付を取得しており、安全性について高い評価を受けております。（平成20年1月11日現在）

●格付けの用語解説

格付けとは 一般的に企業が発行する債券や銀行預金の元金・利息支払いの安全度を示す指標で、このランクが上位に位置するほど安全性が高いとされています。

※ A AからB までの格付け記号には同一等級内の相対的位置を示すものとしてプラス（+）もしくはマイナス（-）の符号による区分があり、一般的にB B B（-）以上が「投資適格等級」といわれています。

有価証券(その他有価証券で時価のあるもの)の評価損益(単体) 単位: 百万円

平成20年3月31日	評価損益	評価益	評価損
株式	2,615	3,523	908
債券	△991	229	1,221
外国証券	△1,303	32	1,335
その他	△51	127	179
合計	268	3,912	3,644

●有価証券評価損益の用語解説

有価証券評価損益とは 有価証券の簿価と基準日現在の時価との差額を評価損益といい、この評価損益は、有価証券を時価で売却した場合に発生が見込まれる損益といえます。一般的には含み益や含み損といわれることもあります。

自己資本比率(国内基準4%以上)

平成20年3月末の自己資本比率は、国内基準を上回る9.30%となり、健全性を見る上で特に重要だといわれているTier I 比率（中核的自己資本比率）も8.15%と高い水準にあります。

有価証券評価損益

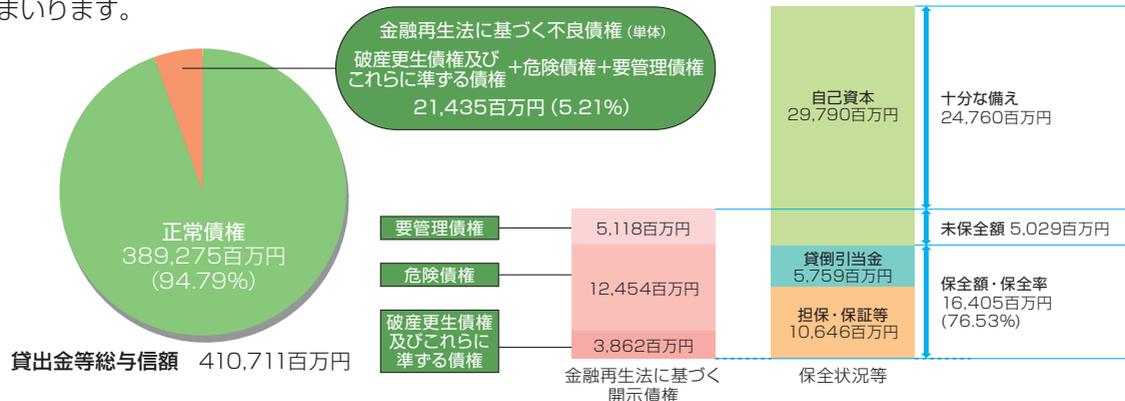
有価証券評価損益は、評価益が39億12百万円、評価損が36億44百万円、評価益と評価損を通算した評価益は2億68百万円となりました。

不良債権

金融再生法に基づく貸出金等の総与信額は4,107億11百万円となり、そのうち回収に懸念のない正常債権は3,892億75百万円で94.79%を占めております。

一方、不良債権は214億35百万円（総与信の5.21%）となり、平成19年3月期の215億5百万円（総与信の5.28%）に比べ70百万円減少しました。また、この不良債権の76.53%（164億5百万円）は、担保・保証等や引当金で保全されています。残りの50億29百万円につきましては、お取引先の経営状態から直ちに引当を要するものではありませんが、仮に貸倒が発生したとしても、当行の自己資本は297億90百万円あり備えは十分で、当行の財務内容の健全性をご理解いただけるものと存じます。

今後も皆さま方の資金需要にお応えしながらも、審査・信用リスク管理を徹底して、貸出債権等の健全性確保に努めてまいります。



金融再生法開示債権の保全状況 (単体)

単位：百万円

平成20年3月31日	破産更生債権等	危険債権	要管理債権	合計
開示債権額 (A)	3,862	12,454	5,118	21,435
担保・保証等による保全額 (B)	2,960	6,820	865	10,646
対象債権に対する貸倒引当金 (C)	901	4,274	583	5,759
保全額 (D) = (B) + (C)	3,862	11,094	1,448	16,405
開示額に対する保全率 (D)/(A)	100.00%	89.08%	28.30%	76.53%
担保・保証等による保全がない額 (E) = (A) - (B)	901	5,634	4,253	10,789
引当率 (C)/(E)	100.00%	75.86%	13.72%	53.38%

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

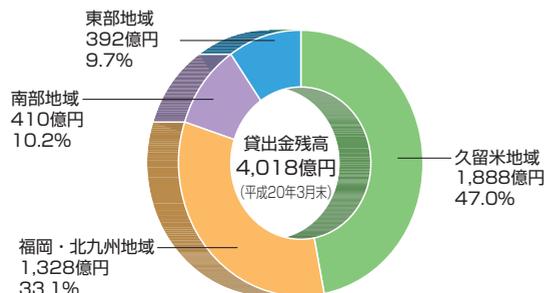
●不良債権の用語解説

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権とは** 破産、会社更生、再生手続等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。
- 危険債権とは** 債務者が経営破綻の状況には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受け取りができない可能性の高い債権。
- 要管理債権とは** 3ヶ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。
- 正常債権とは** 債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記1から3までに掲げる債権以外のものに区分される債権。

地域貢献

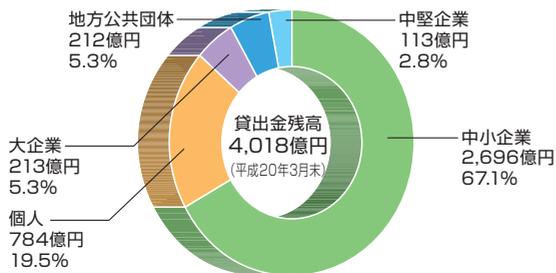
融資の状況

地域別貸出金残高、構成比率



当行が地域のお客さまからお預かりした大切な預金は、そのほとんどを地域の企業や個人の方々への貸出に向けており、「地域の資金は地域のために」という当行創立の趣旨を堅持し、地域金融機関の使命を果たしております。

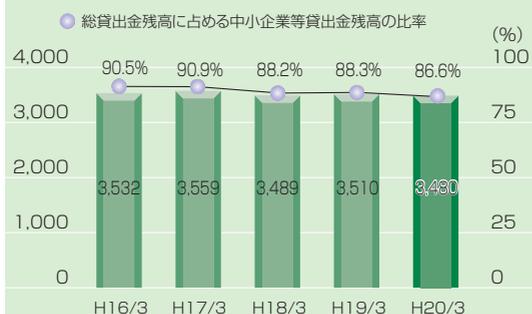
中小企業等貸出金残高、構成比率



当行は創業時より地域の中小企業や個人の方を中心とした貸出を行っており、今後もこの方針を変更することなく、お客さまのニーズを的確につかみ、必要とされる資金・金融サービス・各種金融情報をタイムリーに提供してまいります。

中小企業等貸出金残高、比率の推移

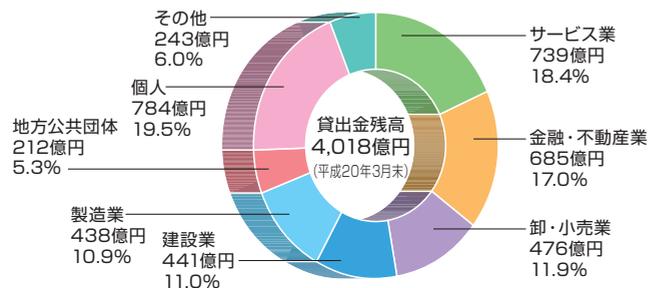
単位：億円



中小企業等貸出金残高、比率の推移

中小企業および個人の方々に対する貸出金の残高は、前期末比30億円減少し、3,480億円となりました。総貸出金に占める中小企業等貸出金残高の割合は、86.6%（中小企業67.1%、個人19.5%）と高い割合を維持しています。

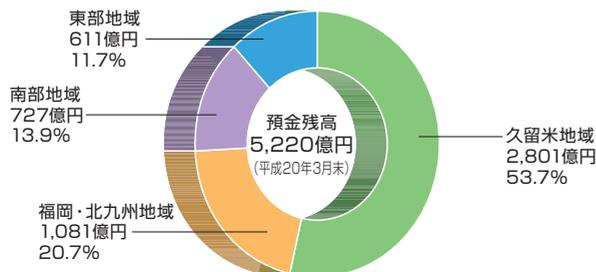
業種別貸出金残高、構成比率



当行は、リスク管理の面等から地方公共団体や個人以外では一定の業種に偏ることなく各業種に概ね均等に貸出を行っております。

預金・預り資産の状況

地域別預金残高、構成比率



当行は、地域に根差した金融機関として、創立以来地域の皆さまからのご信頼をいただき、預金は個人預金を中心に順調に推移しております。今後もお客さまのニーズにあった魅力ある金融商品の提供に努めてまいります。

個人預り資産残高の推移



個人預り資産残高

当行は、お客さまの多様化する資金運用ニーズにお応えする投資信託や国債等を取扱っております。個人預り資産は前期末比15億24百万円増加して374億35百万円となりました。

※個人預り資産＝投資信託、個人年金保険、外貨預金、公共債の合計

地域経済の活性化

地域金融機関としての役割

当行は地域に根差した金融機関として、地域経済の活性化・地域の発展のために企業への円滑な資金供給やさまざまな金融サービスの提供という役割のほか、お取引先企業の経営改善支援などにも積極的に取り組んでおります。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

①創業・新事業支援への取り組み

地元のバイオベンチャー企業を育成・支援するため、「ちくぎんバイオベンチャー研究開発大賞」を創設し、表彰を行っております。(P13参照)



第2回「ちくぎんバイオベンチャー研究開発大賞」表彰式

②経営改善・事業再生支援への取り組み

営業推進部内に専門スタッフを配置し、中小企業再生支援協議会との連携や全国初の取組みとなった(社)中小企業診断協会福岡県支部との業務提携による地域企業の経営改善支援や事業再生支援に取り組んでおります。平成19年度は49社の経営改善支援・事業再生支援に取り組みました。

③事業承継支援への取り組み

独立行政法人中小企業基盤整備機構の機能を活用し、事業承継を目的とした九州初のファンド「九州ブリッジファンド」への出資を行っております。同ファンドは九州の地元地方銀行5行が出資する初のファンドであり、後継者不在等の問題の解決を支援することで、円滑な事業承継を実現するファンドです。平成19年10月には大牟田の太陽電池モジュール製造会社に出資を行い、全国的にも稀な中小企業のEBO(従業員による企業買収)の実現を支援いたしました。

2. 中小企業に適した資金供給手法の徹底

①担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み

担保や第三者の保証に依存しない融資商品として、CRD(中小企業信用リスクデータベース)を利用した福岡県等との提携商品「元気フクオカ資金」、保証会社各社・各地商工会議所との提携商品「ちくぎんビジネスローン」、当行独自商品「ちくぎんクイックローン」等を推進しております。また、福岡県信用保証協会の流動資産担保融資保証制度(略称:ABL保証)の積極的な活用も行っております。

②農業者向け専用ローンの発売

地元の農林漁業者への経営相談・支援機能強化のため、福岡県内に本店を置く金融機関では初めて、農林漁業金融公庫との提携商品「ちくぎんアグリビジネスローン」の取扱を開始いたしました。(P13参照)

3. 持続可能な地域経済への貢献

①各種無料相談会の開催

お客さまの様々なニーズやご相談にお応えするために、弁護士による「法律相談会」、社会保険労務士による「年金相談会」や中小企業診断士による「経営相談会」を定期的を開催し、それぞれご好評をいただいております。



ちくぎん3つの相談会

②広域商談会の開催

平成19年7月に、自動車関連企業を中心に久留米市との共催により、2回目の開催となる「久留米広域商談会」を開催し、前年の商談会を上回る多数の企業の参加がありました。



「平成19年度 久留米広域商談会」

社会貢献活動

地域への各種支援活動の状況

当行は、銀行業務を通じた地域経済への貢献のほか、地域社会の一員として地域の発展を願い、さまざまな社会貢献活動を積極的に展開しております。

1. 青少年スポーツ活動の支援

当行は青少年の健全な育成を願って「ちくぎん杯少年サッカー大会」を平成5年より毎年開催しております。年々充実した大会となっており、平成20年度の第16回大会には福岡県内および近県から、32チーム（小学生約600名）が出場し、2日間にわたる熱戦を繰り広げました。



第16回ちくぎん杯少年サッカー大会

2. 各種講演会の開催

地域の皆さまへの情報サービスの一環として「福岡政行先生チャリティ講演会」・「九州経済白書説明会」等を毎年開催し、ご好評をいただいております。

3. 地域の講演会への講師の派遣

地域の学校やロータリークラブ、講演会・会議などへ役職員を講師として派遣し、銀行業務や金融の仕組み等についての講義を行い、地域の皆さまへの金融経済に関する情報提供に努めております。



大学の講義等に役職員を派遣

4. 地域行事への積極参加

当行は、地域社会の一員として地域の皆さまとのふれあいを大切にするため、毎年「くるめ水の祭典」や地域

のお祭りなどのさまざまなイベントに役職員が積極的に参加しております。



くるめ水の祭典

5. 環境保全・美化活動

① 全行員一斉「地域貢献清掃活動」の実施

当行の創立50周年を機に、平成14年10月より当行の基本理念である「地域社会へのご奉仕」を実践するために、全行員による店舗周辺の道路や公園などのボランティア清掃活動を行っております。

② 地域の美化運動への積極参加

地域環境の美化のために、「都心部道路美化キャンペーン」、「筑後川河川敷美化ノーポイ運動」などの地域の美化運動に役職員が積極的に参加し、地域と一体となった活動を続けております。

③ 古紙リサイクル活動の推進

平成16年3月に久留米市の古紙リサイクル奨励制度に登録し、ゴミ減量の一環として古紙のリサイクルを推進しております。

6. 「小さな親切運動」の推進

昭和58年7月、「くるめ『小さな親切』運動の会」発足と同時に役職員が会員となり、今日まで「小さな親切」の実践に取り組んでまいりました。

また、平成5年4月から当行本店内に同運動の会の事務局を設置し、環境保全・美化活動など、豊かな地域づくりに向けたさまざまな活動に取り組んでおります。



「くるめ『小さな親切』運動の会」

商品／サービスのご案内

個人の皆さま向けローン商品

個人のお客さまの、より豊かで充実した明日のために、ライフステージに合わせた各種ローンを取りそろえております。

(平成20年3月31日現在)

	種 類	ご融資金額	ご返済期間	特 色
カードローン	エースカードローン	300万円以内	1年（自動更新）	極度額の範囲内で自由にお借入れができます。
	ミニカードローン	50万円以内	3年（自動更新）	極度額の範囲内で自由にお借入れ、ご返済ができます。
	Myポケットカードローン	90万円以内	1年（自動更新）	極度額の範囲内で自由にお借入れができます。
目的型ローン	マイカーローン	500万円以内	8年以内	車の購入や車検費用等のローンです。
	教育ローン	500万円以内	10年 6か月以内	在学期間中は返済を据置できます。
	子育て支援ローン	50万円以内	5年以内	子育てに関する費用や育児休業中の生活資金にご利用いただけます。
住宅ローン	住まいる住宅ローン	6,000万円以内	35年以内	変動金利型、固定金利選択型をお選びいただけます。 ※3大疾病保障特約付住宅ローンも取扱いたしております。



事業者の皆さま向け融資商品

地元企業や個人事業主の皆さまの資金ニーズに積極的にお応えするため、さまざまな商品を取りそろえております。

(平成20年3月31日現在)

	種 類	ご融資金額	ご返済期間	特 色	担保等
事業者用ローン	事業者カードローン	1,000万円以内	2年（自動更新）	限度内で繰り返し利用できます。	保証協会
	ビジネスローン	5,000万円以内	3年以内	法人または個人事業主の方が対象となります。	不要
	アグリビジネスローン	500万円以内	5年以内	当行と農林漁業金融公庫が協調してご融資いたします。	不要
	クイックローン	5,000万円以内	1年以内	スピード回答、無担保でご融資、事業性資金にご利用いただけます。	不要



インターネットサービス

いつでもラクラク、簡単アクセス！

【個人のお客さま】

インターネット・モバイルバンキング
(ちくぎんCnet)

パソコンまたは携帯電話から
残高照会や振込がご利用
いただけます。



会社のパソコンが筑邦銀行の窓口！

【法人・個人事業主のお客さま】

インターネットバンキング
(ちくぎんビジネスWeb)

オフィスにしながら、
残高照会や振込がご利用
いただけます。



※ご利用にはインターネットへの接続とご契約が必要です。

ご相談サービス

「金融のホームドクター」を目指している当行は、各種相談会の開催、相談コーナー等の充実に努めております。

(平成20年3月31日現在)

種 類	内 容
ちくぎん 年金相談会	平日にじっくりご相談を承れるように毎月第3水曜日に本店営業部で「年金相談会」を開催いたしております。年金に関するさまざまなご相談を専門の相談員がわかりやすくご説明いたします。(お問い合わせ：お近くの本店・各支店)
ちくぎん 経営相談会	経営改善、経営革新などに前向きに取り組んでおられる経営者の方々の事業の順調な発展、成長を支援するために中小企業診断士が経営の診断助言を行います。(お問い合わせ：お近くの本店・各支店)
ちくぎん 法律相談会	地域に密着した金融機関のサービスの一環として、無料の「法律相談会」を開催いたしております。専門の弁護士がわかりやすくていねいにお答えします。(お問い合わせ：お近くの本店・各支店)
ちくぎん テレホンセンター	フリーダイヤルによるローンの仮申込、ご相談を受付けております。また、定期預金の満期のご案内も行っております。受付時間は午前9時～午後8時迄です。(土・日・祝日は除きます。) ☎ 0120-86-7980
ちくぎん ご相談コーナー	本店営業部では、夜8時までご融資(住宅ローン、事業資金等)や資産運用などのご相談を承っております。 TEL 0942-32-5600



ご来店はゆっくり、ご相談はじっくりどうぞ。

ちくぎんご相談コーナー

よる8時まで 本店営業部 平日時間延長

トピックス

「福岡政行先生チャリティー講演会」を開催

(平成19年10月)

当行は平成5年より毎年、(社)筑後中小企業経営者協会、(株)西日本新聞社、(社)久留米法人会との共催による「福岡政行先生チャリティー講演会」を開催しております。テレビ・新聞等のマスコミで著名な福岡先生の講演は、毎回お客さまより大変ご好評をいただいております。



福岡政行先生チャリティー講演会

「第3回PFI事業セミナー」の開催

(平成20年2月)

PFI事業への理解と促進をはかるため、本年も久留米市および(社)筑後中小企業経営者協会との共催によりPFI事業セミナーを開催いたしました。今回は特に給食センターPFI事業にスポットを当て、事業の参画方法や進め方等についてセミナーを実施し、地場中小企業者等の同事業への理解促進を図りました。



第3回PFI事業セミナー

※PFI事業とは民間の資金、経営能力および技術能力等を活用して公共施設などの建設、維持管理、運営等を行う手法。日本では1997年に「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」(所謂、PFI法)が制定されました。

「ちくぎんアグリビジネスローン」の取扱開始について

(平成20年2月)

当行は、福岡県内に本店を置く金融機関では初めての取組みとなる農林漁業金融公庫(以下農林公庫)スーパーLクイック融資との提携商品「ちくぎんアグリビジネスローン」の取扱を開始いたしました。このローンは当行を窓口として、一定の要件を満たす認定農業者の方を対象に、当行と農林公庫が協調して「農業経営に必要な事業資金」を最大1,000万円までご融資するものです。今後とも当行のネットワークと農林公庫の農業経営に関するノウハウを最大限に活かすことで、地域農林漁業の発展と地場産業の活性化に貢献していく方針です。



ちくぎん
アグリビジネスローン

第2回「ちくぎんバイオベンチャー研究開発大賞」の表彰

(平成20年3月)

「ちくぎんバイオベンチャー研究開発大賞」は、地元の優れたバイオベンチャー企業へ贈るもので、当行が取り組んでおります地域密着型金融推進計画の創業・新事業支援の一環として平成18年度に創設しました。本大賞により、バイオベンチャー企業の育成を支援し、地域経済の活性化に貢献したいと考えております。第2回の大賞は、地球温暖化対策が喫緊の課題といわれているなか、食糧と競合しないサゴ椰子を原料としたバイオエタノールの製造に取り組んでいるバイオベンチャー企業を表彰いたしました。



第2回バイオベンチャー研究開発
大賞の表彰

CSモニター調査の実施

(平成20年2～3月)

当行はお客さまに、当行の商品やサービスをより満足してご利用いただくために、平成18年および平成19年に「お客さま満足度アンケート調査」を継続して実施いたしました。多くのお客さまから寄せられた「ご意見・ご要望」は業務運営の参考とさせていただき、順次改善努力をしております。そうした経過を踏まえ、さらなるお客さま満足度の向上を目指し、平成20年2月～3月に亘って全営業店を調査対象とした「外部コンサルタントによる覆面モニター調査」(CSモニター調査)を実施いたしました。調査の内容は「行員の対応状況」や「店舗の整備・整理」等であり、今後、調査結果を検証・分析し、お客さまの目線に立った改善に取り組むことによって、多様化・高度化するお客さまのニーズに、よりの確にお応えしたいと考えております。

「CSモニター調査の概要」

- ・ 調査期間：平成20年2月18日～平成20年3月12日
- ・ 調査対象店舗：42店舗（全店）
- ・ 調査方法：コンサルタントによる覆面調査

「コミュニケーションボード」の導入について

(平成20年3月)

当行は、耳の不自由な方や外国の方などのコミュニケーションの向上を目的として、イラストや文字等を指で示すことでご用件をお伝えいただける「コミュニケーションボード」を全営業店に設置いたしました。

※「コミュニケーションボード」は全国銀行協会が作成したもので、各種手続きやご相談などお客さまのご用件をイラストや文字等で表示しているほか、話し言葉や文字によるコミュニケーションが難しいお客さまがボードの表示等を指で示すことで希望する取引や手続き等を銀行職員にお伝えいただけるよう工夫しています。



コミュニケーションボード

「ちくぎんマルチナカード」の取扱開始について

(平成20年4月)

当行はICキャッシュカードとクレジットカードが一体となった「ちくぎんマルチナカード」の取扱を開始いたしました。同カードは、偽造や不正な情報の読み取りが困難なICチップ搭載により安全性を向上させ、また、ローンカード、振込カード、デビットカード等の各種機能のほか、ETCカード、ケータイクレジットiDもご利用いただける大変便利なカードです。

※ バンクカードをご契約いただいているお客さまが「ちくぎんマルチナカード」をお申込みいただいた場合、カードは切替とさせていただきます。お手続きに関しましてはお取引店までお問合せください。

※ 審査結果によってはご希望に添えない場合がございます。



ちくぎんマルチナカード

お客さまへの大切なお知らせ

キャッシュカード犯罪被害にあわないために

キャッシュカードの 暗証番号は大丈夫ですか？

- 暗証番号を「生年月日」、「電話番号」、「住所の番地」及び「自動車のナンバー」など他人に類推されやすい番号にすると大変危険です。もし、このような番号をご使用になっていて被害にあわれた場合、補償が減額されることがありますので、至急変更されるようお願いいたします。また、暗証番号をカードに書き込んだり、メモと一緒に保管していたりすると、被害にあわれた場合に補償を受けられませんのでご注意ください。
- 銀行員を装って電話をかけ、「暗証番号を変更する」などといった、暗証番号を聞きだそうとする犯罪が発生しています。当行行員がお客さまに暗証番号をお聞きすることはありません。また、キャッシュカードはどんなに短時間であっても他人に預けたりするのは大変危険ですのでご注意ください。

通帳・印鑑・キャッシュカードの 保管にご注意ください！

- 通帳・印鑑・キャッシュカードは別々に、厳重に保管されるようお願いいたします。また、運転免許証や保険証などご本人であることを示す公的書類も通帳などとは別に保管されることをお勧めします。
- 通帳の記帳はできるだけ頻繁に行い、不審な取引がないかを確認してください。
- 万一、通帳・印鑑・キャッシュカードのいずれか一つでも紛失された場合は、すぐにお取引店へご連絡ください。早朝・夜間及び休日についてはATMサービスセンターにご連絡ください。

キャッシュカード・通帳等の紛失・盗難のご連絡先

	受付時間帯	連絡先	連絡先電話番号
平日	8:45～18:00	お取引店またはお近くの筑邦銀行	「店舗のご案内」(P17)をご覧ください。
	18:00～翌日8:45	ATMサービスセンター	0942-35-0037
土・日・祝	24時間受付		

偽造・盗難キャッシュカード対策への取組み

当行は偽造・盗難キャッシュカード等によるお客さまのご預金の不正引出を防止するため、さまざまな対策を講じています。

対策項目	内容
のぞき見防止フィルム	ATM機の操作画面にのぞき見防止フィルムを貼り、お客さまの後方や横から暗証番号等をのぞき込まれないように安全性を高めています。
後方チェックミラー	ATM機の操作中にお客さまの後方がチェックできるようにミラーを取り付けております。
「ご利用明細票」の発行要否選択	キャッシュカードでのお引出しの際、お客さまの口座番号等のカード情報が第三者に漏れるのを防ぐ目的で「ご利用明細票」発行の要否をお選びいただけるようにしております。
ICキャッシュカードの発行	偽造や不正な読み取りが困難なICチップを搭載したキャッシュカードの発行を開始いたしました。 ※新規申込および5年ごとの更新時に発行手数料1,050円が必要となります。
ATMでの「暗証番号の変更」・「利用限度額引下げ」機能	ATMでの一日あたりのご利用限度額※を200万円としておりますが、不正引出被害の全国的な増加を受け、お客さまのご預金保護のため、「暗証番号の変更」・「利用限度額引下げ」を、窓口でのお取扱いに加えて、お客さまが直接ATM機で行うことができるようにしております。
盗難・偽造等の24時間受付	カード等の盗難・偽造等の被害の未然防止や拡大防止をはかるために、お客さまからの緊急連絡を、24時間受付いたしております。

※ご利用限度額について

・ご利用限度額には当行のATMでのお引出し、お振込（振込資金の引落し）のほか、提携金融機関でのお引出し、デビットカードのご利用金額を含みます。

顧客保護等管理方針

当行は、お客さまの保護および利便性の向上や業務の健全性・適切性の観点から、顧客保護等管理態勢の整備に努め次の通り取組んでまいります。

当行は、顧客保護等管理に係る基本方針を以下のとおりとします。

1. お客さまとの取引に関し、正確かつ適切な情報を提供すると共に、お客さまが理解し納得していただけるよう適切かつ十分な説明を行ないます。
2. お客さまからのご相談・苦情等は、真摯に受け止め適切かつ十分に対応し、お客さまのご理解と信頼を得られるよう努めると共に、再発防止および改善に努めます。
3. お客さまに関する情報は、法令等に従って適切に取得・利用すると共に、不正なアクセスや流出等を防止するため適切な措置を講ずるなど安全に管理いたします。
4. お客さまとの取引に関し、当行が業務を外部委託する場合は、その業務の的確な遂行を確保し、お客さまの情報やその他の利益を保護するため、委託先を適切に管理いたします。
5. その他、お客さまの保護や利便性の向上のために必要と判断した業務の管理について適切に管理いたします。

なお、お客さまからのご意見・苦情等はお取引の営業店または以下の窓口までお申し出ください。

【お問合せ窓口】

株式会社 筑邦銀行 本店 お客さまサービス室
久留米市諏訪野町2456番地の1

- 電話：0942-32-5343（直通）
（月曜日から金曜日 9：00～17：00 ただし、土・日・祝祭日等銀行休業日を除きます。）
- E-mail：ckh-service@chikugin.jp



店舗／店舗外キャッシュコーナーのご案内

当行は、福岡県内（主として久留米地域、東部地域、南部地域、福岡・北九州地域）のほか、鳥栖市（佐賀県）及び日田市（大分県）とその近隣地域を営業基盤としています。（平成20年3月31日現在）

店舗

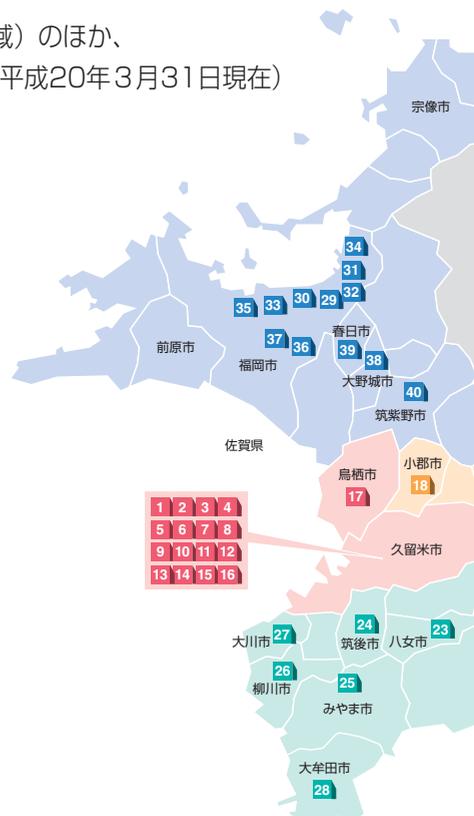
番号	店名	電話番号	番号	店名	電話番号
1	本店営業部	0942-32-5331	23	八女支店	0943-23-3141
2	中央町支店	0942-33-9116	24	筑後支店	0942-53-2188
3	国道通支店	0942-33-8471	25	瀬高支店	0944-62-2143
4	日吉町支店	0942-32-5261	26	柳川支店	0944-72-2131
5	くしはら支店	0942-39-3691	27	大川支店	0944-87-2134
6	荒木支店	0942-26-3161	28	大牟田支店	0944-52-5271
7	国分支店	0942-21-7131	29	福岡支店	092-521-1451
8	高良内支店	0942-43-2333	30	赤坂門支店	092-761-6404
9	長門石支店	0942-38-5731	31	博多支店	092-411-7231
10	津福支店	0942-34-6511	32	雑餉隈支店	092-581-2831
11	上津支店	0942-21-4681	33	西新町支店	092-821-3331
12	南町支店	0942-21-4311	34	名島支店	092-661-2811
13	十三部支店	0942-43-3911	35	姪浜支店	092-891-7561
14	東合川支店	0942-44-5500	36	警弥郷支店	092-572-3911
15	大善寺支店	0942-26-8971	37	中尾支店	092-561-2231
16	田主丸支店	0943-72-2171	38	大野支店	092-591-3111
17	鳥栖支店（佐賀県）	0942-83-2801	39	春日支店	092-501-1531
18	小郡支店	0942-73-3211	40	二日市支店	092-922-6661
19	甘木支店	0946-22-3920	41	北九州支店	093-531-3631
20	吉井支店	0943-75-2101	42	黒崎支店	093-621-0631
21	杷木支店	0946-62-1125			
22	日田支店（大分県）	0973-24-3171			

■ 久留米地域

■ 南部地域

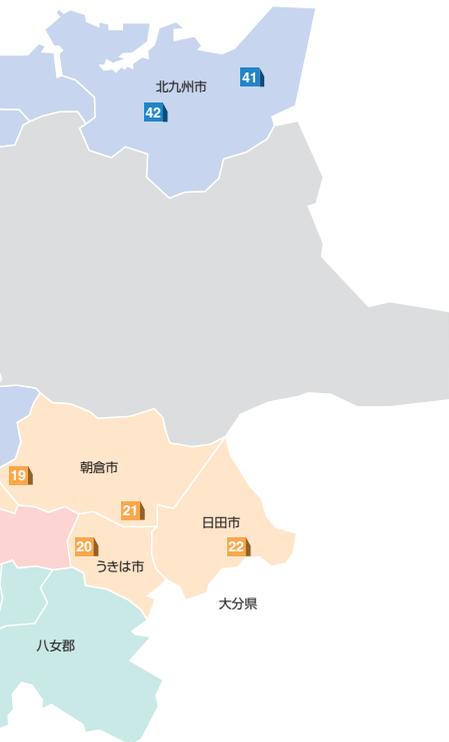
■ 東部地域

■ 福岡・北九州地域



ATMネットワーク





提携金融機関4行のATM・CD 1,482か所 2,803台

(平成20年3月31日現在)

筑邦銀行、佐賀銀行、十八銀行、西日本シティ銀行のキャッシュカードをご利用のお客さまは、4行のATM・CDからのお引出しが手数料無料でご利用いただけます。

無料でご利用いただける時間 平日8:45~18:00

※上記時間以外のご利用には、別途時間外手数料が必要となります。
 ※佐賀銀行、十八銀行、西日本シティ銀行のカードによる「お引き出し」は、当行カードによる「お引き出し」と同様の手数料となります。
 ※ご利用時間及びサービス内容は設置場所によって異なります。

店舗外キャッシュコーナー

- | | |
|------------------|-------------------|
| 入 西鉄久留米駅出張所 | 入 入金できる設備 |
| 入 西鉄久留米駅前出張所 | 入 タイホー大石町店出張所 |
| 入 一番街出張所 | 入 久留米駐屯地出張所 |
| 入 久留米六角堂広場出張所 | 入 久留米市役所出張所 |
| 入 久留米大学病院1階出張所 | 入 サザンモール出張所 |
| 入 久留米大学医療センター出張所 | 入 タイホー北野店出張所 |
| 入 久留米大学商学部出張所 | 入 ミスターマックス北茂安店出張所 |
| 入 ハンドメイク上津店出張所 | 小郡市役所出張所 |
| 入 スーパー大栄上津店出張所 | 入 D&D大刀洗店出張所 |
| 入 西鉄花畑駅出張所 | 入 ※タイホー甘木店出張所 |
| 入 聖マリア病院出張所 | 朝倉市役所出張所 |
| 入 タイホー西町店出張所 | 入 ジャスコ甘木店出張所 |
| 入 タイホー津福店出張所 | ゆめタウン八女出張所 |
| 入 タイホー櫛原店出張所 | 柳川市役所出張所 |
| 入 タイホー国分店出張所 | ソラリアプラザB1出張所 |
| 入 ゆめタウン久留米出張所 | 入 明治屋太宰府店出張所 |
| 入 タイホー山川店出張所 | 筑紫野市役所出張所 |
| 入 西鉄ストア宮ノ陣店出張所 | 入 ゆめタウン筑紫野出張所 |
| 入 JR久留米駅出張所 | |

※タイホー甘木店出張所は平成20年5月23日閉鎖いたしました。

財務のご報告 (連結)

第84期末 連結貸借対照表 (単位: 百万円)

(平成20年3月31日現在)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	22,457	預金	520,418
買入金銭債権	67	譲渡性預金	3,769
商品有価証券	96	借入金	5,276
有価証券	126,703	その他負債	4,160
貸出金	397,028	退職給付引当金	1,580
外国為替	287	役員退職慰労引当金	393
その他資産	5,694	偶発損失引当金	53
有形固定資産	17,194	再評価に係る繰延税金負債	1,794
無形固定資産	2,844	支払承諾	8,217
繰延税金資産	5,496	負債の部合計	545,663
支払承諾見返	8,217	(純資産の部)	
貸倒引当金	△8,088	資本金	8,000
		資本剰余金	5,759
		利益剰余金	14,064
		自己株式	△119
		株主資本合計	27,704
		その他有価証券評価差額金	160
		土地再評価差額金	2,173
		評価・換算差額等合計	2,334
		少数株主持分	2,298
		純資産の部合計	32,337
資産の部合計	578,000	負債及び純資産の部合計	578,000

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第84期 連結損益計算書 (単位: 百万円)

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

科目	金額
経常収益	18,848
資金運用収益	11,509
(うち貸出金利息)	(9,638)
(うち有価証券利息配当金)	(1,736)
役務取引等収益	1,910
その他業務収益	4,994
その他経常収益	433
経常費用	17,204
資金調達費用	1,369
(うち預金利息)	(1,252)
役務取引等費用	665
その他業務費用	5,001
営業経費	8,015
その他経常費用	2,152
経常利益	1,643
特別利益	27
特別損失	136
税金等調整前当期純利益	1,535
法人税、住民税及び事業税	739
法人税等調整額	△123
少数株主利益	184
当期純利益	735

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第84期 連結株主資本等変動計算書 (単位: 百万円)

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計		
前連結会計年度末残高	8,000	5,759	13,613	△99	27,272	3,820	2,201	6,022	2,129	35,424
当連結会計年度変動額										
剰余金の配当			△311		△311					△311
当期純利益			735		735					735
自己株式の取得				△20	△20					△20
自己株式の処分			△0	1	0					0
土地再評価差額金の取崩			27		27					27
株主資本以外の項目の当連結会計年度変動額(純額)						△3,660	△27	△3,687	168	△3,518
当連結会計年度変動額合計	—	—	450	△19	431	△3,660	△27	△3,687	168	△3,087
当連結会計年度末残高	8,000	5,759	14,064	△119	27,704	160	2,173	2,334	2,298	32,337

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務のご報告 (単体)

第84期末 貸借対照表 (単位: 百万円)

(平成20年3月31日現在)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	22,441	預金	522,073
買入金銭債権	67	譲渡性預金	3,769
商品有価証券	96	その他負債	2,361
有価証券	126,661	退職給付引当金	1,563
貸出金	401,855	役員退職慰労引当金	370
外国為替	287	偶発損失引当金	53
その他資産	1,375	再評価に係る繰延税金負債	1,794
有形固定資産	9,256	支払承諾	8,217
無形固定資産	2,009	負債の部合計	540,203
繰延税金資産	5,159	(純資産の部)	
支払承諾見返	8,217	資本金	8,000
貸倒引当金	△7,434	資本剰余金	5,759
		資本準備金	5,759
		利益剰余金	13,816
		利益準備金	2,724
		その他利益剰余金	11,091
		別途積立金	10,000
		繰越利益剰余金	1,091
		自己株式	△119
		株主資本合計	27,456
		その他有価証券評価差額金	160
		土地再評価差額金	2,173
		評価・換算差額等合計	2,334
		純資産の部合計	29,790
資産の部合計	569,994	負債及び純資産の部合計	569,994

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第84期 株主資本等変動計算書 (単位: 百万円)

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

	株主資本							自己株式	株主資本合計	評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		その他有価証券評価差額金			土地再評価差額金	評価・換算差額等合計		
		資本準備金	資本剰余金合計		別途積立金	繰越利益剰余金							
前事業年度末残高	8,000	5,759	5,759	2,724	9,500	1,159	13,383	△99	27,043	3,819	2,201	6,021	33,064
当事業年度変動額													
剰余金の配当						△311	△311		△311				△311
別途積立金					500	△500	—		—				—
当期純利益						716	716		716				716
自己株式の取得								△20	△20				△20
自己株式の処分						△0	△0	1	0				0
土地再評価差額金の取崩						27	27		27				27
株主資本以外の項目の当事業年度変動額 (純額)										△3,659	△27	△3,687	△3,687
当事業年度変動額合計	—	—	—	—	500	△67	432	△19	413	△3,659	△27	△3,687	△3,273
当事業年度末残高	8,000	5,759	5,759	2,724	10,000	1,091	13,816	△119	27,456	160	2,173	2,334	29,790

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第84期 損益計算書 (単位: 百万円)

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

科目	金額
経常収益	13,891
資金運用収益	11,565
(うち貸出金利息)	(9,695)
(うち有価証券利息配当金)	(1,735)
役務取引等収益	1,822
その他業務収益	86
その他経常収益	416
経常費用	12,566
資金調達費用	1,264
(うち預金利息)	(1,254)
役務取引等費用	748
その他業務費用	191
営業経費	8,211
その他経常費用	2,149
経常利益	1,324
特別利益	4
特別損失	136
税引前当期純利益	1,193
法人税、住民税及び事業税	646
法人税等調整額	△169
当期純利益	716

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

役員／株式の状況

役員氏名 (平成20年3月31日現在)

取締役会長 (代表取締役)	井手 和 英
取締役頭取 (代表取締役)	山 下 洋
取締役副頭取	佐藤 清一郎
常務取締役	空閑 重信
常務取締役	日隈 篤裕
取締役	田中 靖正
取締役	龍 憲一
取締役	青木 正明
常勤監査役	吉田 茂
監査役	豊島 安治
監査役	上野 寛
監査役	薬師寺 道明

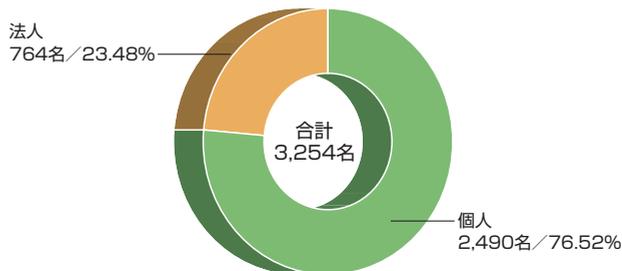
(注) 監査役上野寛、薬師寺道明の両名は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式の状況 (平成20年3月31日現在)

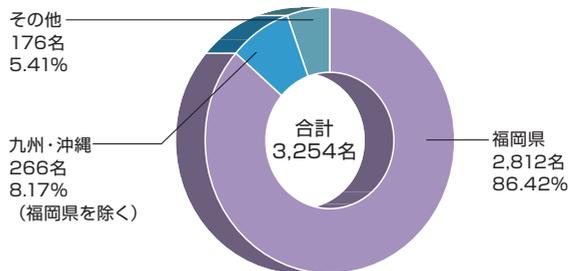
●株式の所有数別分布表

区分	株主数 (名)	株主数比率 (%)	株数 (株)	株数比率 (%)
1,000,000株以上	10	0.31	16,320,009	26.12
500,000株以上	10	0.31	6,640,461	10.63
100,000株以上	68	2.09	15,471,277	24.76
50,000株以上	74	2.27	4,775,601	7.64
10,000株以上	730	22.43	13,393,073	21.43
5,000株以上	503	15.46	3,173,842	5.08
1,000株以上	1,130	34.73	2,428,312	3.88
1,000株未満	729	22.40	287,625	0.46
合 計	3,254	100.00	62,490,200	100.00

●株式の所有者別分布状況



●株主の地域別分布状況



株式のご案内

1.事業年度	毎年4月1日から翌年の3月31日まで
2.期末配当金の確定日	毎年3月31日
3.中間配当金の確定日	毎年9月30日
4.定時株主総会	毎決算日後3か月以内に開催
5.株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
6.同事務取扱場所	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
7.連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ・各種お問い合わせ 0120-232-711 (通話料無料) ・各種手続用紙のご請求 0120-244-479 (通話料無料) ・ホームページアドレス http://www.tr.mufg.jp/
8.同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
9.上場取引所	証券会員制法人 福岡証券取引所
10.公告掲載紙	福岡市において発行する西日本新聞に掲載 決算公告につきましては、下記のホームページに掲載しております。 ・ホームページアドレス http://www.chikugin.co.jp/

ちくぎんホームページ

インターネットのホームページで、決算情報、各種サービス・商品、最新のトピックス等常時情報を発信しております。ぜひ当行ホームページをご覧ください。

<http://www.chikugin.co.jp/>



筑邦銀行総合企画部広報室
〒830-0037 久留米市諏訪野町2456-1
TEL (0942) 32-5331 (代)